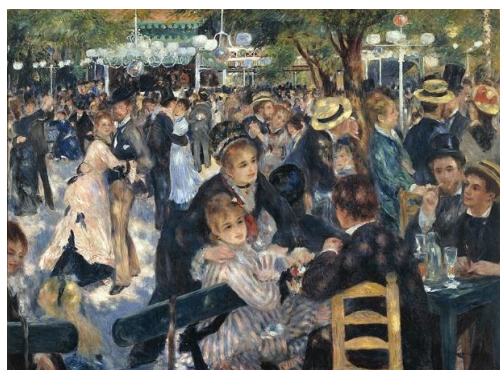


展覧会制作から見た作家・コレクションの魅力



ルノワール《ムーラン・ド・ラ・ギャレット》1876年、オルセー美術

きらめく印象派の画家たち

- ◆講 師 名古屋市美術館参与 深谷克典
- ◆開講日 第2日曜日 10:30~12:00
- ◆受講料 6カ月(6回)分 18,480円(税込)



印象派といえば、絵画の近代化の扉を開いた画期的なグループですが、そこには多彩な才能が集まっていた。今回はモネと並ぶこのグループの中心的存在ルノワールを軸に、マネ、ドガ、ベルト・モリゾなど、個性豊かな画家たちの作品を紹介します。10月からの6カ月講座です。

10月8日	【ルノワール①：印象派誕生まで】 磁器の絵付け職人としてスタートしたルノワールでしたが、やがて本格的な絵画を志し、同じ画塾で学ぶモネやシスレーと一緒に印象派を結成します。生きる喜びと光に溢れる初期の代表作の数々を見ていきます。
11月12日	【ルノワール②：混迷の時代】 印象派初期の傑作の数々。しかし、発表当時の評判は決して芳しくなく、経済的にも創作の上でもルノワールは大きな壁に直面します。その壁を乗り越えるために、彼は印象派に背を向け新たな方向を模索します。苦難の日々の軌跡をたどります。
12月10日	【ルノワール③：円熟の時代】 10年に及ぶ試行錯誤の時代を経て、50代を迎えたルノワールはようやく安定した様式と評価を手に入れます。芳醇な生命力に満ちた裸婦や肖像画の数々を紹介するとともに、晩年の作品が後の作家たちに与えた影響についても検証します。
1月14日	【先駆者マネ】 印象派のグループ展には一度も参加していませんが、マネの存在は印象派誕生の重要なキープポイントです。決して前衛を目指していたわけではないのに、いつの間にか美術史の大きな転換点となったマネの芸術の秘密を探ります。
2月11日	【古典派？ドガ】 印象派の中心メンバーでありながら、アングルを敬愛し、しばしば古典的な肖像画を得意としたドガは、複雑で多面的な要素を抱えた人物でした。日本の浮世絵にも大きな影響を受けたと言われるドガの作品の魅力をご紹介します。
3月10日	【印象派の女性画家たち】 モネやルノワールの陰に隠れてあまり目立ちませんが、印象派のグループには多くの女性画家が存在し、活躍しています。ベルト・モリゾ、メアリー・カサット、エヴァ・ゴンザレスなど、独自の魅力にあふれる彼女たちの作品を見ていきましょう。

⑤

詳細は下記フリーダイヤルまでお問い合わせください。

※受講料には維持管理費が含まれています。
※一部の講座の受講料には音楽著作権使用料が含まれています。
※内容・日程は変更になる場合がございます。ご了承ください。
※講座により募集締切日が異なりますので、お問い合わせください。
※お申込みの人数によっては、開講中止となる場合もございます。予めご了承ください。

中日文化センターへ
初めてご入会される方は、
別途登録料550円(税込)が必要です。



名古屋・栄 中日文化センター

〒460-0008 名古屋市中区栄4-16-36 久屋中日ビル7F

☎ 0120-53-8164

10:00~19:00(日曜日は17:00まで)